

2022 年度第 3 回研修委員会議事録

日 時：令和年 6 月 23 日（木） 10：00 ～ 12：00

場 所：立正大学品川図書館RiLLComG（11号館6F）

出席者：松下裕（明治大学）、丸山雄太（大正大学）南川真貴子（中央大学）、
篠田一成（早稲田大学）今井星香・古賀理恵子（慶應義塾大学）、
吉水拓哉（立正大学）【敬称略／順不同】

議 長：松下裕（委員長）

議 題：

1. 2022 年度研修委員会のテーマについて

各委員が調査した「電子ブック」に関する講演やセミナー、論文について報告しあった。調査内容を参考にプログラムの絞り込みを行い、「利用促進（正しい使い方を含む）」と「電子ブックの選書」からプログラムを練ることにした。「電子ブックの保存」については、興味関心がある内容である一方、様々な考え方ができる観点のため検討から外すことにした。

プログラムについては、仮タイトル「電子ブックの導入における課題」をもとに、①授業利用等の教員や利用者視点の内容、②大学図書館における電子ブックに関する内容、③電子ブックの流通等といったベンダー側の内容、④基調講演として電子ブック全般（公共図書館を含みつつ、大学図書館によせる）に関する内容、⑤利用促進・選書に関する内容として試読選書サービス（DDA）、⑥国立国会図書館の動きに関する内容、が候補にあがった。

研修会開催に向けてのスケジュールを再度確認した。開催日は 10 月中旬とし、リハーサルを 9 月下旬～10 月上旬、広報を開催 1 か月前、講演者への依頼を 7 月下旬ごろに行うことを確認した。

プログラムの①②については、事例等を各委員で調査し次回研修委員会までに Slack にて共有することにした。

2. その他

情報共有ツール Slack の無料期間が終了したが、問題なく使用できるため継続して利用することを確認した。

事務局より 6 月 10 日（金）に開催した、研究部担当理事校主催の研究講演会について、研修会開催の参考として当日の参加人数や当日のネット環境、動画の視聴期間について説明した。

次回開催は 7 月に対面形式を予定。

以上